

奉讚伝灯作法

散華（念佛）

頭発音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

同音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

頭発音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

同音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

頭発音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

同音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

頭発音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

同音
南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶ

一回目 頭発音
二回目 同音

な も - - あ - - み - だぶ

一回目 頭発音
二回目 同音

な も - - あ - - み - だぶ

一回目 頭発音
二回目 同音

な も - - あ - - み - だぶ

頭発音
同音

な - も な - も あ み だ - ぶつ

正信念佛偈(依經段)

歸命无量壽如來同音南无不可思議光

法藏菩薩回位時同音在世自在王佛所

觀見諸佛淨土回國土人天之善惡

建立无上殊勝願超發希有大弘誓

五劫思惟之攝受重誓名聲聞十方

普放无量无边光无碍无對光炎王

清淨歡喜智慧光不斷難思无稱光

超日月光照塵刹一切群生蒙光照

本願名號正定業
至心信樂願爲回

成等覺證大涅槃
必至滅度願成就

如來所以興出世
唯說弥陀本願海

五濁惡時群生海
應信如來如實言

能發一念喜愛心
不斷煩惱得涅槃

凡聖逆謗齊迴入
如衆水入海一味

攝取心光常照護
已能雖破无明闇

貪愛瞋憎之雲霧
常覆真實信心天

一 譬 如 日 光 覆 雲 霧
一 雲 霧 之 下 明 无 闇

一 獲 信 見 敬 大 慶 喜
一 即 横 超 截 五 惡 趣

一 一 切 善 惡 凡 夫 人
一 聞 信 如 來 弘 誓 願

一 佛 言 廣 大 勝 解 者
一 是 人 名 分 陀 利 華

一 弥 陀 佛 本 願 念 佛
一 邪 見 憍 慢 惡 衆 生

一 信 樂 受 持 甚 以 難
一 難 中 之 難 无 過 斯

ハ

カナ上

受下

受下

ユルク

正信念佛偈(依釈段)

印度いんど西天さいてん之し論家ろんげ
中ちゆう夏か日域じちいき之し高僧こうそう

顯けん大聖だいしやう興こう世正せしやう意い
明みやう如來にょらい本誓ほんぜい應おう機き

釋迦しやくか如來にょらい楞伽りやうが山せん
爲衆いしゆ告命ごうみやう南天なんてん竺じく

龍樹りゆうじゆ大士だいじ出於しゆつと世せ
悉能しつのう摧破さいは有無うむ見けん

宣說せんぜつ大乘だいじやう无む上法じやうほう
證歡しやうかん喜地ぎじ生安しやうあん樂らく

顯示けんじ難行なんぎやう陸路ろくろ苦く
信樂しんぎやう易行いぎやう水道しやうどう樂らく

憶念彌陀佛本願

自然即時入必定

唯能常稱如來號

應報大悲弘誓恩

天親菩薩造論說

歸命无寻光如來

依修多羅顯真實

光闡橫超大誓願

廣由本願力迴向

為度群生彰一心

歸入功德大寶海

必獲入大會眾數

得至蓮華藏世界

即證真如法性身

遊煩惱林現神通

入生死菌示應化

本師曇鸞梁天子
常向鸞處菩薩禮

三藏流支授淨教
焚燒仙經歸樂邦

天親菩薩論註解
報土回果顯誓願

往還迴向由他力
正定之回唯信心

惑染凡夫信心發
證知生死即涅槃

必至无量光明土
諸有衆生皆普化

道綽決聖道難證
唯明淨土可通入

萬善自力貶勤修
圓滿德號勸專稱

三不三信誨慇懃
像末法滅同悲引

一生造惡值弘擔
至安養界證妙果

善導獨明佛正意
矜哀定散與逆惡

光明名號顯回緣
開入本願大智海

行者正受金剛心
慶喜一念相應後

與韋提等獲三忍
卽證法性之常樂

源信廣開一代教
偏歸安養勸一切

專雜執心判淺深
報化二土正辨立

極ごく重じゅう惡あく人にん唯ゆい稱しょう佛ぶつ
我が亦やく在ざい彼ひ攝せつ取しゅ中ちゅう

煩ぼん惱のう鄣しょう眼げん雖すい不ふ見けん
大だい悲ひ无む倦けん常じょう照しょう我が

本ほん師し源げん空くう明みょう佛ぶつ教きょう
憐れん愍みん善ぜん惡まく凡ぼん夫ぶ人にん

真しん宗しゅう教きょう證しょう興こう片へん州しゅう
選せん擇じゃく本ほん願がん弘ぐ惡あく世せ

還げん來らい生しやう死じ輪りん轉でん家げ
決けつ以ち疑ぎ情じやう爲い所しよ止し

速そく入にゅう寂じやく靜じやう无む爲い樂らく
必ひつ以ち信しん心じん爲い能のう入にゅう

弘ぐ經きやう大だい士じ宗しゅう師し等どう
拯じやう濟さい无む邊へん極ごく濁じやく惡あく

道どう俗ぞく時じ衆しゆ共ぐ同どう心しん
唯ゆい可か信しん斯し高こう僧そう說せつ

念佛和讚

念佛(四句)

同音

南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶつ

南な无も阿あ弥み陀だ佛ぶつ



な もあみ だ なも あみ-だ ぶ つ



な もあみ だ なも あみ-だ ぶ つ

和 讚 (二首)

同音

十方微塵世界の 念佛の衆生をみそなはし

攝取してすてざれば 阿弥陀となづけたてまつる

煩惱にまなこさへられて 攝取の光明みざれども

大悲ものうきことなくて つねにわが身をてらすなり

同音 *mf*

じつ ぼ(り) みじん せ かいの
ねんぶつ の しゆ(り) を みそなわし
せつ しゆ しーて すてざれば
あみだとなづけ たてまつる

mf
ぼん(り) にまなこ さえられて
せつ しゆのこ(り)みよ(り) みざれども
だいひ ものうき ことなくて
つねに わがみを てらすなり

な もあみ だ なもあみ-だぶ つ

な もあみ だ なもあみ-だぶ つ

南な
无も
阿あ
弥み
陀だ
佛[」]

南な
无も
阿あ
弥み
陀だ
佛^{ぶつ}

南な^{同音}
无も
阿あ
弥み
陀だ
佛[」]

南な
无も
阿あ
弥み
陀だ
佛^{ぶつ}

念 佛 (四句)

和 讚 (二首)

同音

五濁悪世ごじよくあくせのわれらこそ 金剛こんごうの信心しんじんばかりにて

ながく生死しやうじをすてはて、自然じねんの浄土じやうどにいたるなれ

弥陀みだの本願ほんがん信しんずべし 本願ほんがん信しんずるひとはみな

撰取せんしゆ不捨ふしゃの利益りやくにて 无上むじやう覚かくをばさとりなり

mf

ごじよく あくせの われらこそ

こんご(う) のしんじん ばかりにて

ながく しよ(う)じを すてはてて

じねんのじよ(う)どに いたるなれ

mf

みだの ほんがん しんずべし

ほんがんしんずる ひとはみな

せつ しゆ ふしゃの りやくにて

むじよ(う) かくをば さとりなり

な もあみ だ なもあみ-だぶ つ

な もあみ だ なもあみ-だぶ つ

念 佛 (四句)

南同音 无 阿 弥 陀 佛
な も あ み だ ぶ つ

南 无 阿 弥 陀 佛
な も あ み だ ぶ つ

和 讚 (二首)

同音

弥陀みだの回向えこう成就じゆうじゆして 往相還相おうそうげんそうふたつなり

これらの回向えこうによりてこそ 心行しんぎやうともにえしむなれ

弥陀みだ大悲だいひの誓願せいがんを 深くしん信ぜんひとはみな

ねてもさめてもへだてなく 南无阿弥陀佛なもあみだぶつをとなふべし

みだの え(う)こ(う) じ(う)ょ(う)して

お(う)そ(う) げんそ(う) ふたつなり

これらのえ(う)こ(う) に よりてこそ

しんぎ(う)ょ(う) とともに えしむなれ

みだ だいひの せいがんの

ふかく しんぜん ひとはみな

ねても さめても へだてなく

なもあみだぶつを との(う)べし



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ



な もあみ だ なもあみ-だぶ つ

南^な南^な南^な南^な南^な南^な^{同音}

无^も无^も无^も无^も无^も无^も

阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ

弥^み弥^み弥^み弥^み弥^み弥^み

陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ

佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}

念 佛 (十二句)

南^な南^な南^な南^な南^な南^な

无^も无^も无^も无^も无^も无^も

阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ阿^あ

弥^み弥^み弥^み弥^み弥^み弥^み

陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ陀^だ

佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}佛^{ぶつ}

回向句

律曲
出音
羽
黄鐘調

<p>だい 大 悲 ひ</p> <p>宮 商 上 角 受下</p>	<p>じ 自 信 しん</p> <p>宮 上 羽 角</p>
<p>でん 傳 普 ぶ</p> <p>宮 上 羽 角</p>	<p>けう 教 人 じん</p> <p>宮 上 羽 角</p>
<p>け 化 け</p> <p>宮 上 羽 角</p>	<p>しん 信 しん</p> <p>宮 上 羽 角</p>
<p>しん 真 成 じょう</p> <p>宮 上 羽 角</p>	<p>ちう 難 中 ちう</p> <p>宮 上 羽 角</p>
<p>ほう 報 佛 ぶつ</p> <p>宮 上 羽 角</p>	<p>てん 轉 更 ぎよう</p> <p>宮 上 羽 角</p>
<p>とん 恩 とん</p> <p>宮 上 羽 角</p>	<p>なん 難 難 なん</p> <p>宮 上 羽 角</p>